

# ピ ア ノ 通 信

2007・5月

発表会が無事おわりました。

発表会1週間まえは毎日でもレッスンに来ていいと言うことにしました。

それはせっかく火がついたうちにもっと上手になってほしいから。

もう1つの理由は電子ピアノのタッチとグランドピアノタッチのちがいにとまどはないように。



## 協力

みんなで合奏の練習もできて3さいから高校生までお友達になりました。

3歳の子のおかあさんが「かえりましょう」と言っても「うん」とはいいません。

こんなに大きなおともだちは初めてでうれしかったのでしょう。

待ち時間でも大きな子が小さな子をいたわる姿は心うたれました。

HPにある絵本(アニメ)のねずみ達のようにみんなで力を合わせることができましたね。

ギターをひいた美咲ちゃんが3年生のとき「ピナール」ができました。名づけ親です。

## 緊張

初めての発表会で緊張のあまりしんどくなったおともだち。本番で「舞台まで付いて行こうか?」と言うともう覚悟が決まったらしく「いい!」といって立派にごあいさつもしもどってこれました。あとで元気なところを見られ「元気やん」と言われると「足が痛い」と彼女。それは走りすぎ。

## 感動

「すごいですね!あの機敏な動き」

楽器の出し入れに感動して言われた。こんどは演奏で感動してね。



## 臨機心変

前日「ぼくもマイクやりたい」と言う事でぶっつけ本番という場面も多い。

朴 韓哲「これなんて読むの?」急きょアナウンスすることになった「ぱくったから反則」

「わかりました!」 完璧でしたね。

## ふるさと

エンディングの最後ナレーション聞こえましたか?

「心のふるさととは母。最後まで応援してくれてありがとう」と言いたかったんです!